

新庁舎建設基本構想策定にあたっての提言

平成 27 年 1 月

那須塩原市議会

はじめに

那須塩原市議会では、平成26年第2回定例会において、市議会として新庁舎に関わる調査、検討、検証を独自に行うことを目的として、平成26年6月6日に庁舎建設検討特別委員会を設置しました。

以来、7回の審議において市執行部からの説明を求めるとともに、現庁舎における課題への対応策について、あらゆる角度から総合的に議論を進めてまいりました。

また、この審議の間には、先進事例を参考にするため、東京都青梅市への視察を行いました。

現在、市執行部においては、新庁舎建設基本構想の策定に向けた作業を進めておりますが、本市議会でのこれまでの議論と審議を踏まえ、新庁舎建設基本構想策定にあたり、議会の立場から提言いたします。

平成27年1月22日

那須塩原市議会

新庁舎建設基本構想策定にあたっての提言事項

I. 新庁舎を拠点とした『まちづくり』に関すること

1. 新庁舎を拠点に、那須地域の中心市として「人口の減らないまちづくり」を進めること。
2. 市民が集い、憩いの場として親しみやすい景観に配慮すること。
3. 東日本大震災等を教訓として、災害時に防災の拠点としての機能が果たせること。
4. 市民が必要とする手続きを効率よく利用できるよう、他の官公署等との関係について考慮すること。

II. 新庁舎に求める『サービス』内容に関すること

1. 市民の利用しやすさを考慮した、バリアフリー構造、ワンストップフロア構造を取り入れたユニバーサルデザインとすること。
2. 市民や障がい者等の交流を支援する共有スペースの設置について検討すること。
3. 環境に配慮し、将来的なトータルランニングコストを意識した、維持メンテナンス重視型の庁舎とすること。

III. 新庁舎の『整備位置』に関すること

1. 地方自治法第4条第2項に基づき、市民の利用に最も便利であるように、交通事情等について考慮すること。
2. 合併協定項目及び新市建設計画を尊重し、新庁舎の位置は那須地域の玄関口である那須塩原駅周辺とすること。
3. 那須地域の玄関口である那須塩原駅を核として、容易にアクセスできる位置とすること。

IV. 新庁舎の『整備時期』に関すること

1. 平成30年度までの完成に最大限努力すること。
2. 新庁舎整備基金、合併特例債の財源を有効に活用できる時期にすること。

V. その他

1. 市民の声を広く反映させるためにアンケート等を実施し、その結果を尊重すること。また、今後、庁舎に関する情報を随時、市民へ周知すること。
2. 新庁舎の規模は、市民サービスや防災機能に配慮した適切な規模とすること。
3. 議会スペースについては、議会と十分な意見交換をすること。

